



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2012年11月のロータリーレイトは 1ドル=80円

パストガバナーからの手紙

11/8

「ゆとり教育」その4～人生の方程式に「正解」はない～

炭谷 亮一

フランスの思想家、ルソーは「教育の目的は機械を作ることではなく、人間をつくることだ」（「エミール」と述べた。つまり、自分の頭で物事を考えられるような人間に育てるということの為に必要な知識を教え、知力や体力を育てることだ。それは、人間は教育されたことを土台としてしか、問題を解決できないからである。ところが戦後の日本の教育を考察してみると、人間を作ることではなく、条件反射するネズミを作ることを目的としているとしか思えない教育をしてきた。学校は鋳型にはまった人間を次から次から生み出す鋳型工場と化し、金太郎飴の子供達を作り出してきた。近年その反省から「ゆとり教育」なるものを取り入れたが、勉学の質を向上させず、量のみ削減した為、知識不足、能力不足の若者を多数輩出してしまった。真の「ゆとり教育」とは詰め込み教育をやめ、自分の頭で物事を考え判断する能力を身につけさせる意味なのに単に子供に楽をさせるということでもない教育をした結果である。文科省は反省して又ゆとりのない教育へ方向転換をはかっている。

現在でも入学試験に出題される問題には、あらかじめ用意されている答えるべき「正解」は一つである。これがいかに恐ろしいことか、数学の方程式の問題を例に考えてみたい。

生徒・学生が使っている数学の教科書や問題集に載っている問題は、いずれも「解」のある方程式、しかも解ける方程式である。入試で出される方程式も同様である。しかし代数方程式その他の初等(関数の)方程式にせよ、微分方程式にせよ、方程式が必ず「解」を持つとは限らない。持っても所定の方法で解けるとは限らない。むしろ「解」を持たない方が普通なのである。また、「解」があっても求める方法がないために近似値しか求められない場合もある。

本来なら、中学 1 年生の段階で、方程式が必ず「解」を持つとは限らないということをきちんと教えるべきなのだが、現実には殆どの生徒学生は、方程式は必ず解けると思っている。つまり「解ける方程式」だけに慣らされている。だから「解けない方程式」に出会うと右往左往するばかりで、どう対処してよいか分からなくなる。現実、実生活で直面する問題に「正解」があるとは限らない。むしろ殆どの場合「正解」は用意されていないと言っ

クラブ例会予定 2012-2013 年度

- 11/8 柳生 好春様(野々市 RC)
- 11/15 例会休会
- 11/22 郭 蕤様(百万石 RC 米山奨学生)
- 11/29 北山吉明会長(百万石 RC)

2012～2013

(役員) 会長：北山吉明 エコト：野城 勲 副会長：宮永満祐美 幹事：川きみよ 副幹事：上杉輝子

直前会長 会計：西村邦雄

(理事) クラブ管理運営委員長：村田祐一 副：相良光貞(親睦：金沂秀 プログラム：若狭豊

SAA：上杉輝子 ニコニコ：井口千夏 友好・クラブ細則：魏賢任)

奉仕プロジェクト委員長：竹田敬一郎 副：後出博敏(職業：土田初子 社会新世代：武藤清秀

国際：宮永満祐美 ラオスプロジェクト：岩倉舟伊智)

会員組織委員長：二木秀樹 副：江守巧 会員増強修練：金沂秀

ロータリー財団委員長：藤間勸菊 副：東海林也令子(ロータリー財団・米山：藤間勸菊 年次寄付：北山吉明)

広報委員会委員長：吉田昭生 副：江守道子(広報：谷伊津子 ロータリー情報：木場紀子

会報：石丸幹夫) 常任理事：石丸幹夫

★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務局 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241 (事務局) 阿原美和

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 木 9:00～12:00、17:30～20:00 休憩時間 12:00～13:00

休日(土日祝日) 幹事 川きみよ 090/9766/6666 副幹事 上杉輝子 090

て良い。仮にあったとしても「正解」が一つである保障はない。まさに「一寸先は闇」と言って良い。その闇に果敢に立ち向かっていく土台を築くことが本来の教育の目的である。

ところが戦後教育は問題には必ず一つの正解があるという刷り込みを行っており、正解が用意されていない問題に直面したとき、右往左往するばかりで、どう対処してよいか分からなくなる。このことが戦後教育の大きな欠陥と言える。以上を改めれば、今以上に多くのノーベル賞受賞者を輩出できるだろう。

思い起こせば、仏教には「自燈明」という言葉がある。開祖である釈迦が亡くなる時「これから私達は何に頼って生きて行けば良いのでしょうか」と嘆く弟子たちに向かって、釈迦は「私が死んだ後は、自分で考えて自分で決めろ、大事なことはすべて教えた。自ら明かりを燈せ。誰かが燈してくれる明かりを頼りに暗闇を歩むのではなく、自ら明かりとなれ。」つまり己で人生の指針を持たなくてはならないと突き放したわけである。「教育」と「自燈明」は同義語と言える。



例会優り

674回

ホテル日航金沢5F

2012 11.1(木) 19:00

例会出席率 20/35 57.14%

9月修正出席率 72.33%

点 鐘

国 歌 君が代

SONG 手に手つないで

四つのテスト

会長 挨拶： ①当クラブ会員の東海林他也子さんが、北国芸能賞を受賞されました。石川県ピアノ協会の会長としての功績が評価



されました。大変うれしいニュースです。東海林会員の受賞をみんなで喜ぶと共に今後の益々の活躍を期待したいと思います。

② 10月30日、絆復興プロジェクトで日本1周している湯澤真さんの講演会を企画しました。大変急なスケジュールにもかかわらず、講演会には村田会員夫妻、金会員、石丸会員の参加をいただきました。大変感謝しています。湯澤さんは震災の記憶が風化しないようにと、全国を廻り、自作の日本地図に、訪問した県の人達からの被災地向けメッセージを頂いています。それと同時に、被災地ボランティアを通じて体験したことや、見てきたことを講演しています。講演会で映し出された被災地のスライドでは、今年9月になっても、まだに復旧していない、岩手、宮城のつなみ被災地の情景や、放射能汚染でゴーストタウン化した福島町の町が紹介されました。講演後は意見交換を行い、参加者は被災地へのメッセージを地図に書き込みました。湯澤さんは、このあと福井、滋賀を経て、中国、四国地方をまわり最終地の九州、沖縄を目指すそうです。教師になる夢を実現するために、美容師として働き、たくわえてきた、大切な貯金をはたいて旅をしているそうです。素直でやさしい目をした若者に会って、久しぶりに心に涼しい風が吹きました。

ゲスト紹介：高木靴商店 高木 進 様 中田 雄一 様

ビジターのご紹介：（無し）

今月の誕生者の紹介：1日 水野陽子会員 4日 東海林也令子会員 7日 武藤清秀会員 27日 炭谷亮一会員



金沂秀会員：お久しぶりです。韓国3泊4日の旅にいきました。野々市RCが大邱の青雲RCと姉妹提携をしました。野々市RCは15名がまいりました。来年の春に韓国から野々市に来るとのことでした。

《食 事》



ニコニコ Box

¥8,000- 本年度 ¥223,000- 残高 ¥4,300,216-

北山会長：高木進さま、ようこそ百万石ロータリークラブへ。卓話宜しくお願い申し上げます。上杉会員：朝晩すっかり寒くなって来ました。少し心細い気持ちです。高木様、ようこそ。お話楽しみにしています。金会員：永いロードでした。皆様お久しぶりです。高木さん、宜しくお願いします。炭谷会員：高木様、今夜は御苦労様です。杵屋さん、東海林さん、おめでとうございます。藤間会員：高木様、ようこそ。いつもおいしい粧

を買に行ってます。東海林さん、おめでとうございます。宮永会員：ロータリーの友に掲載されました。本当に僭越でお恥ずかしい限りです。百万石RCの会員だから、このような機会を得られました。感謝です。

幹事報告・委員会報告

川きみよ幹事： 本日はなし

プロフィール：(紹介川きみよ幹事) S 26.2.28 生まれ 馬場幼稚園 馬場小学校小将町中学校
二水高校 富山大学経済学部 卒
(株)オーナメントウスキ 入社 (宝石、時計販売) 勤続 10 年後ジュエリータカギ設立 大学卒
業後は靴商店と二足のワラジ
H 23.3 月宇宙志縁隊スタート



講話： 「 今 」



靴の高木進です。昨年 3/11 からは大きく変わったなあと思っています。震災 3 日後には品を個人としてはトラック 1 杯がせいっぱいですが、仙台に缶詰やレトルト食などを運びました。そして仲間と救援を立ち上げました。月 1 回 1000 円を届けて下さるおばあちゃんもいます。行く時はトラックを借りてはいきました。夏までは炊き出しや、清掃をしました。そこではフリーターの人が本当に良くはたらいていました。、石巻には友人もいてそのお母さんは避難所でなくなりました。元々私は日本のふる里の様な東北に行きたいと思っていましたが、福島と宮城は全然ちがいます。福島は怖い放射能の中、避難した人と残った人で人間の体も心も分断されています。これはほんとに人災です。科学万能の時代でも日本人は自然との共生でいかされています。お寺もたずねてみました。心の支えとなるお寺ですが、この被災もあり大変でした。お坊さんも自殺された方がいた様です。石巻では仮設住宅に入るとうつ病になる方がたくさんいる様です。しかし、ボランティアの人は皆明るく、元気を貰うようです。仕切りのない教室で数ヶ月の学校、被災のかたには甘酒やタバコを差し上げてしゃべっていただいたりしました。しかし、この方々もも今ではだんだんお金もなくなり大変です。

私は気仙沼など一通りはまわりましたが、大体同じで 1 年そこらでは回復していません。ただパチンコ屋は早く回復しました。

自衛隊の仕事ぶりは大変誇られるもので、片付け、炊き出し等をしていましたが、自分は缶詰の食事でした。被災者も大変に感謝しています。死体の捜索にも大変努力されていました。これからは被災地との交流が大変重要でやりたいことです。行くだけでなく、続けて交流し援助を続けたい。

東北のみならず宇宙全体の支援の心です。現在の衣食住では 衣は昨年で満杯、食はまだあって欲しい、米、うどん、野菜の交流はまだ出来ます。(要約)

質問 謝辞・謝礼



点 鐘

3710 地区・南光州 RC との Matching Grants について

E-mail : nam-gwangju@hanmail.net

こんにちは。私たちのクラブとマッチンググラント プロジェクトに共にして下さって感謝申し上げます。マッチンググラント書類を検討して、署名された後また南光州 (クワンジュ) ロータリークラブ メールに送られれば感謝します。E-mail:nam-gwangju @ hanmail.net

マッチンググラント提案書

1.プロジェクト内容：プロジェクト場所は和順郡 (ホアスンゴン) と長城郡 (チャンソンゴン) は農村地域として

老人層がたくさん住んでおり、彼らは定期的にぜい弱な反面、慢性疾患が多い。しかし彼らを世話する保健所は彼らが必要とする医療機資材が不足した現実である。このような不足した機資材中、一部でも南光州（クァンジュ）ロータリークラブで用意してみたプロジェクトの主な事業内容である。

2.プロジェクト施行場所：大韓民国、和順郡（ホァスンゴン）と長城郡（チャンソングン）の保健所に医療機支援

3.ホストクラブ/地区：南光州（クァンジュ）ロータリークラブ（クラブ ID 16825） / 3710 地区（大韓民国）

-クラブ会長:金ヒボン 010-3603-1509 -クラブ国際奉仕委員長 010-9605-6484

4.パートナークラブ/地区：金沢百万石ロータリークラブ / 2610 地区（日本）

5 プロジェクト予算：ホスト パートナーロータリークラブ国際パートナーロータリークラブ

南光州（クァンジュ）RC \$1,000 金沢百万石 RC \$1,000 3710 地区(DDF) \$2,000 2610 地区(DDF) \$2,000

ロータリー財団(TRF) \$5,000 総予算\$11,000

Budget item 予算案	Name of supplier	Amount
Refrigerator for drugs and Vaccines 冷蔵庫	Samho equipment	w 7,000,000
Warm bed matt 温熱ベッドマット		w 1,485,000
Massage chair マッサージ椅子		w 1,720,000
foot massage 足マッサージ器		w 1,400,000
electricity stimulator 電気刺激器		w 550,000
ultrared electric machine 赤外線治療器		w 495,000

w 12,650,000
US\$1=1,150
\$11,000



会員消息

宮永満祐美会員がロータリーの友 2012.11 号 この人、この仕事に大きく登場

果てを知らず「できる女」の向上心—— 大変な美人である。取材も緊張した（池辺史生氏）。 藤間勘菊 宮永満祐美のコンビはポリオキャンペーンライトアップ、地区大会と大活躍、金沢百万石 RC は出席率は悪いがやるときにはやると言う評価を高めた。



東海林也令子会員に 北国芸能賞 11/3 授賞式

ピアノ教室「ピアノデサンジュ」を開設、多くの優れた生徒をそだてました。石川県のレベルは確実に上がり、プロのオーケストラとの協演もなされています。全日本ピアノ指導者協会評議員も勤め、昨年は県ピアノ協会 40 周年事業として「いしかわ国際ピアノコンクール」をはじめました。レッスンで子どもをしかったことはなく、生徒ののびのびと成長しています。

北国新聞社交流ホールでの懇親パーティにて 金沢文化賞受賞の山出保前金沢市長と共に



藤間勘菊会員 地域文化功労賞文科大臣表彰

石川県から芸術文化分野で県生け花協会専務理事の杉本理照氏と共に県邦楽舞踊特選会常務理事の藤間勘菊会員がえられました。オーケストラとの共演や、海外での発信にも取り込み、県では古典芸能鑑賞教室に 20 年以上講師を務め、更新の指導にも熱心でした。93 年に北国芸能賞、01 年に県文化功労賞、09 年には金沢市文化賞をうけられました。授与式は 1/15 東京都内でおこなわれる。

短歌 入選 ロータリーの友 歌壇 2012.11 号 (前回の特選につづいて)

こき母の帯しめてお太鼓たしかむる姿見の中に在り日の母

石丸恭子 (いしまるたかこ) (石丸幹夫会員夫人)

